

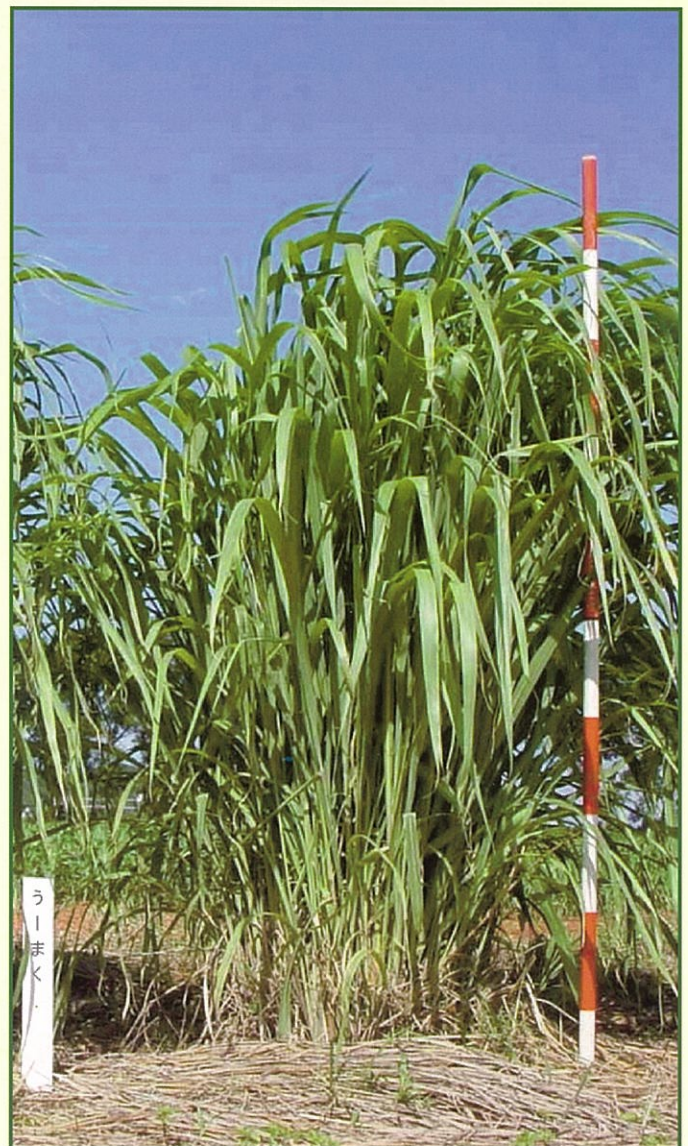
ギニアグラス新品種の紹介

新品種「パイカジ」・「うーまく」は、従来品種にくらべ、収量・栄養価が高く、永続性も優れ、沖縄の気候風土に適しています。



パイカジ

品質・永続性に優れる



うーまく

収量に優れ、倒れにくい

ギニアグラス 「パイカジ」



「パイカジ」(植付2年目)

特性

普及品種「ガットン」より1.3倍程度の収量があり、持続性に優れ、「ガットン」並みの品質を持つ。出穂後の栄養価の低下が遅く「ガットン」に比べ利用適期が長い。

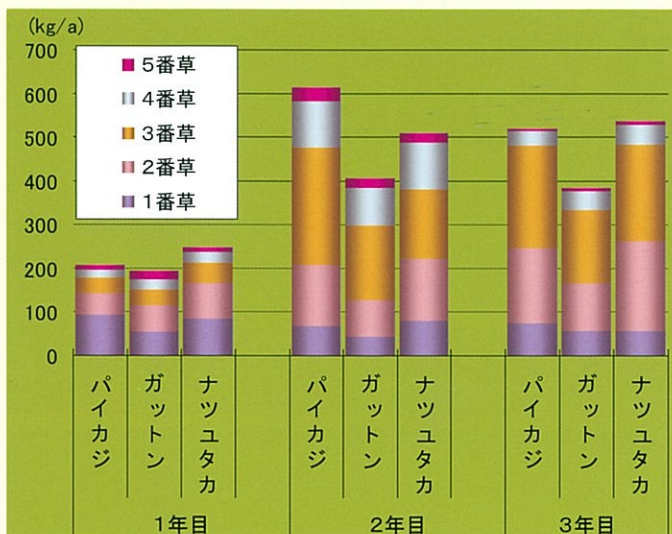


図1 乾物収量(2002~2004年)

表1 乾物消化率および粗タンパク質含有量

品種名	乾物消化率 (%)	粗タンパク質含有量(DM%)
パイカジ(新品種)	56.0	7.4
ガットン(普及品種)	54.3	8.2
ナツユタカ(多収品種)	52.6	6.3

* 乾物消化率は利用2年目の1~4番草までの平均。

* 粗タンパク質含有量は利用3年目の2番草(7月)。

「パイカジ」は農林水産省が実施する指定試験事業(委託事業)により育成され、農林登録すべき品種として認められ、命名された品種であり、独立行政法人国際農林水産業研究センターとの共同育成品種です。

ギニアグラス 「うーまく」



左：ナツユタカ 右：うーまく

特性

多収品種「ナツユタカ」の1.3倍程度の収量があり、持続性に優れ、「ガットン」並みの粗タンパク質含有量を持つ。また再生性、耐倒伏にも優れている。

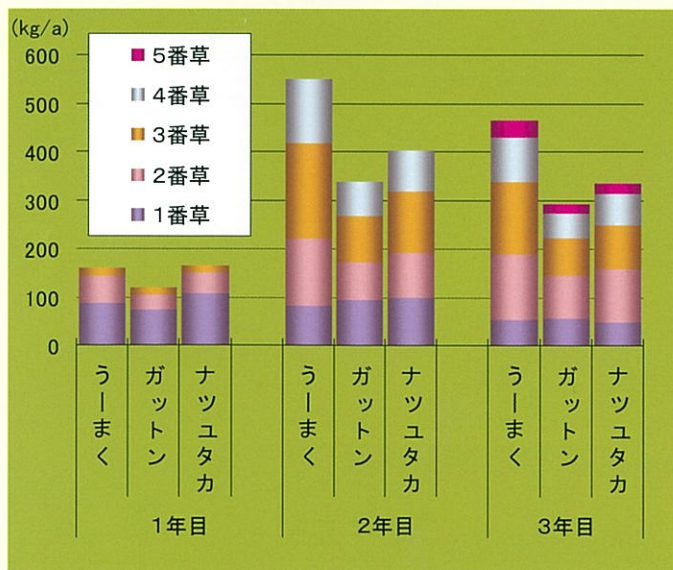


図2 乾物収量(2005~2007年)

表2 乾物消化率および粗タンパク質含有量



品種名	乾物消化率 (%)	粗タンパク質含有量 (DM%)
うーまく (新品種)	58.4	7.2
ガットン (普及品種)	54.8	8.2
ナツユタカ (多収品種)	56.3	6.3

*乾物消化率は利用3年目の1~5番草までの平均。

*粗タンパク質含有量は利用3年目の2番草(7月)。

「うーまく」は農林水産省が実施する指定試験事業(委託事業)により育成され、農林登録すべき品種として認められ、命名された品種であり、沖縄県で選抜育成された沖縄の気候風土に適した新品種です。

「パイカジ」と「うーまく」の特性

		パイカジ	うーまく
生育状況			
特性	収量 永続性	乾物収量がガットンより高く、永続性がある。	乾物収量は極多収、永続性に優れる。
	品質	乾物消化率はガットンより高く、品質に優れる	極晩生で生育期間中の乾物消化率が高く品質に優れる。
	その他	出穂後の栄養価の低下が遅く、刈取り適期がガットンより長い。	再生性が高く、耐倒伏性があり、台風などの風害に強い。
留意点		最初刈取り時にやや倒伏しやすいため、播種後70～80日または草丈1m程度で刈り取る。	初期生育がやや劣るため、雑草の防除と填圧を十分を行い、草高120～150cmで刈り取る。
栽培適地		本県全域の永年採草利用草地	
利用方法		採草利用(生草、乾草、ラップサイレージ)	採草利用(生草、ラップサイレージ)
奨励品種		沖縄県の奨励品種に採用(平成20年度)	
目標面積		1,000ha	600ha
種子販売		平成21年6月	平成23年(予定)

※両品種とも生殖様式はアポミクシス(受精せずに種子をつくる)です。

●問い合わせ●

沖縄県畜産研究センター 育種改良班

〒905-0426 沖縄県国頭郡今帰仁村字諸志2009-5

電話：0980-56-5142 FAX：0980-56-4803

自給飼料生産振興対策事業